

# 全難言協夏期全国研修会 はじめのいっぽ2017 報告

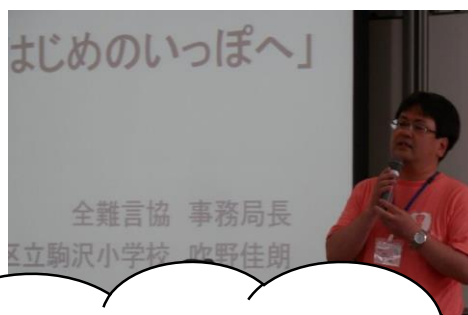
2017年8月2日(水)～4日(金)

## 1日目の様子

- ◆開講式
- ◆講座Ⅰ「ようこそはじめのいっぽへ」
- ◆講座Ⅱ「きこえ・ことばの教室一期一会」
- ◆講座Ⅲ「つながる・つなげる・ひとりじゃないよ」
- ◆ワークショップ



<歓迎セレモニー>



ことばの教室の教諭とは、どのような立場で子供に接していくのか、手助けするのではなく、子供たちが自分で苦手を乗り越えるための手段を指導することなのだと感じ、子供、保護者の味方であると伝えて成長させてあげたいと学びました。

全国の県で、いろいろな通級教室があるけれども、同じような立場で不安に思っている先生がたくさんいて、「つながる」ということを大切にしたら良いということを教えていただき、安心しました。

他県の先生と話すことができつながりができた。



各県同じ悩み、同じように奮闘していることが分かった。



## 2日目の様子

16の分科会に分かれ、研修しました。

### ◆講座Ⅳ

聴力検査

聴覚学習Ⅰ・Ⅱ

構音Ⅰ・Ⅱ

構音検査

吃音Ⅰ・Ⅱ

言語発達Ⅰ・Ⅱ

教育相談

ことばの検査

発達障害



聴力検査ではマンツーマンで丁寧に指導してもらえて感激しました。

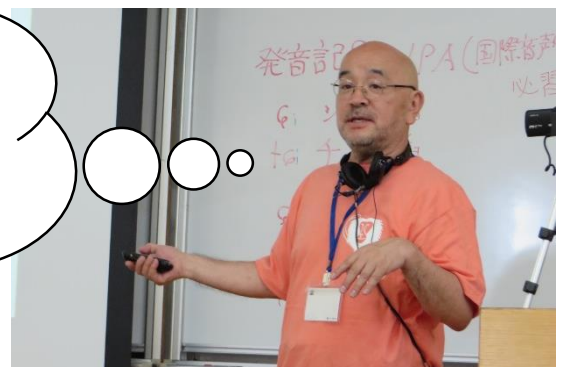
今まで学んできたこと、研修を受けてきたことは点でした。でも今回それらが線で結ばれて「わかった」「なるほど」という思いがたくさんありました。



構音検査をどうまとめ、指導の方針をどう立てるか、本だけではわからなかったなので、本当に聞きたい内容でした。丁寧に聞く耳を自分も子供も育てていきたい。



「なぜこんな音になるんだろう、どう指導したらよいのだろう」と担当になって2年少し、不思議に思っていた子供の原因が分かったのが本当に収穫でした。具体的な症例をもとに原因と指導の仕方を教えていただいたこと、具体的な検査の進め方を教えていただいたこと、実りの多い時間でした。





吃音の指導は何をしたら  
よいかわからずに悩んで  
いたので、参考になりま  
した。

はじめはうまくいなくても当  
然、ゆったりと というメッセ  
ージは切羽詰まった私にとって  
とてもありがたいものでした。



#### ◆相談コーナー



質問にも丁寧に返してく  
ださりありがたかった。



基本的なことを、ポイント  
を絞って教えてくださいあり  
がとうございました。





## 3日目の様子

### ◆講座V「卒業生に学ぶ」



卒業したその後の声を聴くことはあまりないのでとても良い機会になりました。

校内研修等で、吃音の理解を広めていく役割も私たちにはあるのだと感じた。

いろいろ悩みながらもそれでも成長されている姿を感じることができました。そんな大人になっていくお手伝いが今の児童たちにもできればと思います。

障害と正面から向き合って受容している姿に、本当に感動しました。受容すること、乗り越えて将来を見据えて努力されている姿は、ことばの教室に通っている子どもたちのゴールでありスタートだと思う。

### ◆講座VI「こどものころとことばの育ち」

講師：子どもの発達支援を考えるSTの会代表  
言語聴覚士 中川 信子先生



中川先生の講義はとても分かりやすく、心と体が充実していることが子供の成長にとっても大切だと実感しました。

ことばの教室に関わり勉強したいと思って参加しましたが、今は教師としてどう子供たちと向きあっていこうかということで頭がいっぱいです。現場に戻って、頑張る力をたくさんいただきました。